

## 平成 30 年第 2 回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	4	山口文博	<p>1 生活道路の修繕及び拡幅並びに未舗装の舗装整備について</p> <p>(1) 農村地域にまだまだに多くある砂利道の舗装施工について</p> <p>(2) 日常生活に利用している舗装道路における悪化した舗装の修繕について</p> <p>(3) 緊急車両が通ることのできない狭い生活道路の拡幅について</p> <p>2 鹿島台地域の災害対策としての避難施設の整備及び避難経路にある橋梁の拡幅について</p> <p>(1) 鹿島台地域は洪水被害の過去何度もの経験から長期避難する施設が必要である。そこで、旧鹿島台第二小学校の避難施設としての再利用について伺う</p> <p>(2) 吉田川の決壊の際、志田谷地地区から避難所への避難経路にある橋梁が狭く非常に危険なため、橋梁の拡幅を行うことについて</p>
2	16	横山悦子	<p>1 施政方針について</p> <p>(1) 世界農業遺産を生かした地域の活性化と地域づくりについて</p> <p>ア 関係団体との協議、具体的なアクションプランの進捗について</p> <p>イ 農村景観の保存と活用、いぐねの保存について</p> <p>ウ 世界農業遺産ロゴマーク策定と活用について</p> <p>(2) 観光プロモーションについて</p> <p>ア インバウンド推進事業と整備について</p> <p>イ 韓国版トレッキング「オルレ」コース認定の進捗について</p> <p>ウ 鳴子温泉再生プロジェクトの内容について</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) 小中学校の危機管理マニュアル見直しと検証について</p> <p>(2) 通学路安全確保のための対策の検証について</p> <p>(3) 通学路の安全対策と防犯カメラ設置の考えについて</p> <p>(4) 給食費の口座振替実施について</p> <p>(5) 生活保護世帯への進学準備給付金の取り組みについて</p> <p>3 高齢者の運転免許証返納について</p> <p>(1) 免許証返納実態調査と本市の考えについて</p> <p>(2) 高齢者の移動手段としてのタクシー利用助成券交付について</p>
3	11	中鉢和二郎	<p>1 子供の安全、学校の安全について</p> <p>(1) 昨今、子供の安心・安全にかかわるニュースが毎日のように我々の耳に届く。中でも、大川小津波訴訟控訴審判決では、学校、教育委員会の安全確保義務を認め、危機管理マニュアルの整備、それに伴う訓練の実施等の措置を行うべき職務上の具体的義務の存在を導いており、この判断が確定すれば、本市の市立小中学</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>校でも危機管理体制の抜本的な見直しが必要となると考えるが、所見を伺う。</p> <p>次に、新潟小2女児殺害事件も大変痛ましい事件であり、どこでも類似の事件が発生し得るという点で動機解明等捜査の成り行きが気になる事件である。こうした事件が市内で発生しないことを願うが、予防措置として通学路安全点検、住民による見守り活動の強化、子ども110番の家の設置見直し等々、なすべきことは多いと考えるが、所見を伺う</p> <p>2 野生イノシシの被害対策について</p> <p>(1) 昨今、過疎化の進展、耕作放棄地の増加などにより有害鳥獣による被害の報告が増加している。その中でもイノシシの被害は目を覆うばかりである。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>① 直近のイノシシによる農作物被害額と推移</p> <p>② 被害を受けた作物とその被害額</p> <p>③ 直近の被害発生件数と推移</p> <p>④ 直近のイノシシ捕獲頭数と推移</p> <p>⑤ 被害発生範囲及び目撃情報の寄せられた範囲と推移</p> <p>もはや個人での対処の限界に来ていると考えるが、行政の果たすべき責任、役割についても所見を伺う</p> <p>3 中学校の部活動の状況について</p> <p>(1) 昨今、中学校の部活動のあり方についてさまざまな声が聞かれる。それを受け、スポーツ庁は「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を示し、学校設置者及び校長に活動方針の策定を義務づけ、適切な対応を求めている。そこで、本市の対応状況について伺う。</p> <p>一方、少子化により生徒数の減少が進む中で、学校単位での部活動では、子供たちの求めるスポーツ活動を十分に行える状態ではなくなりつつあり、スポーツ少年団等との連携が重要と考えられるが、どのような取り組みがなされているか、伺う。</p> <p>また、部活動とスポーツ少年団の活動の連携では父兄の理解、協力、支援が欠かせないと考えるが、市教育委員会及び各学校の学校長としてどのような指導・配慮を行っているか、伺う。特に、保護者会の運営が民主的かつ風通しよく行われていることが求められると考えるが、実態の把握はされているか、伺う</p>
4	2	伊勢健一	<p>1 子育て環境について</p> <p>(1) 特定不妊治療に対する助成制度について</p> <p>(2) 大崎市民病院における助産師の現状と出生者数について</p> <p>2 大崎市の教育について</p> <p>(1) 小学校統合の現状と今後のスケジュールについて</p> <p>(2) 統合後の地域づくりについて</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
5	7	佐藤仁一	<p>(3) 武道必修化について</p> <p>(4) 部活動や課外活動での地域連携の取り組みについて</p> <p>(5) 学校施設の老朽化について</p> <p>3 地域包括ケアシステムについて</p> <p>(1) 高齢者の理容助成制度について</p> <p>(2) 生活支援体制整備支援事業の現状について</p> <p>4 地域づくりについて</p> <p>(1) 地域内公共交通システムについて</p> <p>(2) チャレンジ事業交付金・ステップアップ事業交付金のこれまでの交付状況について</p> <p>(3) 行政区調整事業について（合区への取り組み状況）</p> <p>1 今後の財政計画と健全運営を問う</p> <p>(1) 総合計画を初め、各種事業計画と連動する財政運営について</p> <p>(2) 合併特例債や過疎対策事業債などの活用、充当について</p> <p>(3) 財源確保策と改革推進策などについて</p> <p>2 子供の通学や遊びなどにおける安全確保策を問う</p> <p>(1) 通学などの不安、不審者対策など、関係機関との連携状況について</p> <p>(2) 新岩出山小学校における通学環境整備計画や青少年健全育成の地域連携について</p> <p>(3) 地域変化や社会変動による教育委員会と各学校、地域組織との役割、協力調整などの強化について</p> <p>3 医療用ウィッグ助成とがん罹患者への積極的な支援体制を問う</p> <p>(1) 市民病院における相談員や任意団体などへの育成支援の安定化策について</p> <p>(2) 医療用ウィッグなどの助成に関する市の方針について</p> <p>(3) がん罹患者の社会参加促進に向けた、市内企業など雇用機関との社会的連携状況について</p>
6	5	山口 壽	<p>1 世界農業遺産について</p> <p>(1) 具体的に保全と活用とは</p> <p>(2) 世界農業遺産を生かした地域の活性化とは</p> <p>(3) 1市4町の連携する事業予定（計画）は</p> <p>2 農業振興について</p> <p>(1) 担い手の確保と育成の現状は</p> <p>(2) 認定農業者の登録者数と申請条件について</p> <p>(3) 市独自のアグリビジネス創出事業による6次産業化の構想</p> <p>(4) 多面的機能支払活動組織の高齢化に伴う現状と対策について</p> <p>(5) 有害鳥獣対策について、市区域内の生息数の把握はしているのか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
7	21	富田文志	<p>1 活力あふれる大崎市創出のための子育て支援の充実と学校教育の環境整備について</p> <p>(1) 大崎市でお子さんを生み育てるための環境整備について</p> <p>ア 大崎市で生まれた人が大崎市に住み続けるために必要な施策と現状について伺う</p> <p>イ 若者の雇用の場の確保策と現状について、企業誘致策の現状と成果、地元企業の育成支援策について伺う</p> <p>ウ 乳幼児の待機児童の現状と対策について伺う</p> <p>エ 大崎市が目指す幼児教育の方向性について伺う</p> <p>(2) 小中学校の教育環境の整備について</p> <p>ア 大崎市が目指す教育の中で、幼児教育と小学校教育の連携の現状と課題について伺う</p> <p>イ 学校内と学校周辺の安全で安心な対策の現状と課題について伺う</p> <p>ウ いじめと不登校の現状について伺う</p> <p>エ 教師の個別の情報管理と情報共有化の構築の必要性について伺う</p> <p>オ 小学校と中学校の連携の現状と課題について伺う</p> <p>カ 近隣自治体で陸上競技大会を開くことについて、競技人口の底辺拡大や基礎体力向上面からの考えを伺う</p> <p>キ 学校給食の完全無償化の方向性について伺う</p>
8	13	鎌内つぎ子	<p>1 子どもの医療費を高校卒業まで無料にし、所得制限をなくすことについて</p> <p>(1) 近隣市町村並みの支援について</p> <p>(2) 子どもの貧困対策について</p> <p>2 市民病院の南病棟の利活用について</p> <p>(1) 市当局の話し合いについて</p> <p>(2) 回復期リハビリなども検討されるのか</p> <p>(3) いつまでに決定するのか</p> <p>3 市民プールの利用料について</p> <p>(1) 利用状況について</p> <p>(2) 健康増進のための利用などは低料金にできないか</p> <p>4 ひきこもりや認知症への対応について</p> <p>(1) 現状と対策について</p> <p>(2) 家族へのケアについて</p> <p>(3) 地域での対応について</p>
9	18	遊佐辰雄	<p>1 予防接種無料化の拡大と助成について</p> <p>(1) 子どもたちへの予防接種は定期接種と任意接種があるが、任意接種は自己負担となっている。インフルエンザを含め、任意接種も無料化すべきではないか</p> <p>(2) 高齢者が対象となっているインフルエンザや肺炎球菌への助成金を引き上げるべきではないか</p> <p>2 公共交通としてデマンド交通システムの運行と改善策について</p> <p>(1) デマンド交通システムを運行し、交通弱者を救済すべ</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
10	23	後藤錦信	<p>きではないか</p> <p>(2) 岩出山地区内のデマンドタクシーの料金を引き下げて、利用しやすくすべきではないか</p> <p>(3) 市内一円、距離に関係なく一律低料金で運行すべきではないか</p> <p>(4) 高齢者が運転免許証を返納した場合、公共交通を無料にする考えはないか</p> <p>1 伊藤市政4期目のスタートに当たって</p> <p>(1) 3期12年の総括について</p> <p>(2) 4期目に向けての市政運営について</p> <p>ア 「温故創生」と「合併成功モデル」について</p> <p>イ 地域間格差拡大と人口減少について</p> <p>ウ 過疎地域活性化の具現策について</p> <p>エ モデル地域として最上流域鬼首を持続可能な地域とするために</p> <p>2 地域おこし協力隊の活用について</p> <p>(1) 現状とこれからの拡充策について</p> <p>3 交通安全対策について</p> <p>(1) 高齢ドライバーに対する安全対策について</p> <p>(2) 高齢ドライバーの免許証返納への取り組みについて</p>
11	20	相澤孝弘	<p>1 魅力ある大崎市の実現に向けて</p> <p>(1) 人口減少社会への取り組みについて</p> <p>(2) 高齢者福祉と介護保険事業について</p> <p>(3) 世界農業遺産とアクションプランについて</p> <p>(4) 有害鳥獣対策について</p> <p>(5) 河川事業で国・県へどのような要望を行うのか</p> <p>(6) 社会教育施設の改修と芸術文化活動について</p> <p>(7) 教育施設の整備と幼児・低学年の教育について</p>
12	10	佐藤弘樹	<p>1 市民向け「人材育成」施策推進の考え</p> <p>2 大崎市版中小企業振興条例策定に向けた取り組みについて</p> <p>3 非常勤職員の採用状況と任期について</p> <p>4 発達障害児の把握と支援策について</p> <p>5 鹿島台地域の公民館・図書室等生涯学習施設の一体型整備とあり方について</p>
13	1	早坂 憂	<p>1 (仮称)道の駅おおさきについて</p> <p>(1) 国道108号からの右左折に伴う渋滞の緩和策について</p> <p>2 中学生の受験について</p> <p>(1) 前年、前々年度ともに高校受験で定員割れが多く発生しているが、市としてこのことをどう受けとめているか。また、市としてできる取り組みはないか</p> <p>(2) 進路指導のあり方について</p> <p>3 木造千手観音坐像について</p> <p>(1) 休日の展示の仕方についてどのように考えているか</p> <p>(2) 休日開放する場合、入場料は発生するのか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
14	15	加藤善市	<p>(3) 信仰する方のために、さい銭箱を設置してはどうか</p> <p>4 介護予防・日常生活支援総合事業について</p> <p>(1) 緩和型通所介護サービスの実施について、第8期計画を待たずに早急に検討を開始すべきではないか</p> <p>1 大幡地区の整備について</p> <p>(1) 市道整備について</p> <p>(2) 排水対策について</p> <p>2 醸室の取り組みについて</p> <p>(1) 現状と課題について</p> <p>3 世界農業遺産について</p> <p>(1) いぐねの保存について</p>
15	9	佐藤講英	<p>1 子ども・子育て支援について</p> <p>(1) 放課後児童クラブと放課後児童健全育成補助事業はどちらも児童福祉法に基づき設置され、同じ事業にもかかわらず支援員の待遇に差があるのは問題である。同一労働同一賃金の趣旨からして改善すべきと思う。また、本市の集中改革プランの趣旨に基づき、放課後児童クラブや児童館等を民間に運営を委託すべきと思うが、その所見を伺う</p> <p>(2) 次代の社会を担う子ども一人一人の育ちを社会全体で応援するため、子育てにかかる経済的負担の軽減や、安心して子育てができる環境整備のための政策など、総合的な子ども・子育て支援を推進する子ども・子育て支援法の主旨からして児童クラブにおいて保育料を徴収するのは問題があるのではないかと思うが、その所見を伺う</p> <p>2 旧古川市大幡土地区画整理事業の中止に伴う市道の新設について</p> <p>(1) 旧古川市時代において市の判断で大幡地区土地区画整理事業、区画面積69ヘクタールが平成13年5月に中止した。当時、古川市として人口の伸びも期待できないことや、ほかに大きなプロジェクトを抱えていること等を理由に断念するので理解を求め、関係者に説明した。しかし、これまで大幡地区の関係者が一生懸命にやってきたことはこの区画整理事業を完成するためだということでは理解は得られなかった。その後、市から市道を東西南北に新設するという話があったので、不満はあるが一定程度理解したようである。しかし、今日になってもその兆しは一向に見えない。関係者との合意を反故にすることなく、すぐにでも実施すべきと思うが、所見を伺う</p> <p>3 古川青果市場や古川水産地方卸売市場のにぎわいづくりについて</p> <p>(1) 古川青果市場は安全・安心な青果物をスーパーや大型店などに安定的に提供し、消費者に安心して消費していただくということだと思うが、近年流通の多</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
16	3	鹿野良太	<p>様化によって青果市場の取扱高が減少していると聞く。消費者ニーズを的確に把握し、生産意欲を向上させるよう大口株主が一体となり情報を提供し、あわせて市場の短期取扱高や長期計画を公開すべきと思う。また、古川水産地方卸売市場とのコラボによりにぎわいのある市場にすべきと思うが、所見を伺う</p> <p>4 消防団員の現状と、今後のあり方や訓練しやすい環境づくりについて</p> <p>(1) 近年、消防団の活動は多岐にわたり、その重要性は市民も知るところである。市も団員の報酬アップや団員確保については消防団事業所協力者制度の活用や女性団員の入団など、一定の成果は認めるところである。しかし、団員の大きな任務の一つに実際の災害に対応するための訓練がある。より多くの団員が参加すべきであるが、自営業や農業の団員が消防団として高い意識を持って訓練に当たっているのが現状である。実態はどう認識しているのか。若い人が入団しないのは、はっぴに抵抗があると聞く。本市の若い団員が生き生きと活動している姿をホームページに作成、掲載しPRすべきと思うが、所見を伺う</p> <p>1 古川地域における小学校統合問題について</p> <p>(1) 具体的な方向性について</p> <p>(2) 廃校後の校舎活用の現状について</p> <p>(3) 小学校統合と地域づくりについて</p> <p>2 ICT化の取り組みについて</p> <p>(1) 情報セキュリティ対策について</p> <p>(2) PC業務自動化(RPA: Robotic Process Automation)導入などロボット活用について</p> <p>3 産業経済振興について</p> <p>(1) 世界農業遺産市のPR方法について</p> <p>(2) 合併後12年のシティープロモーションの成果について</p> <p>(3) 宮城県×Hey! Say! JUMP共同観光キャンペーンとの連携について</p>
17	22	山田和明	<p>1 鹿島台公民館の建てかえについて</p> <p>(1) 教育委員会では、基幹公民館である鹿島台公民館の建てかえについてどのような議論をし、どう方向性を出していくのか</p> <p>(2) 古川七日町には新たに生涯学習支援施設の機能を兼ね備えた地域交流センターの整備を図るが、これらの整備計画が進む中で、基幹公民館の建てかえについては教育委員会で七日町の整備計画と同時にまとめ上げ、市民の皆さんに提示できるようにすべきだと思えるが、所見を伺う</p> <p>2 ふるさとを元気にするために農業政策のさらなる充実が求</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>められることについて</p> <p>(1) 長年にわたり、農家の皆さんはふるさとを元気にするため、一役も二役も買って、地区の環境整備、地域行事の支え手となり、お互い助け合ってきた。今も継続して地区を支え、ふるさとを守っている。</p> <p>このような中、米余りの昨今、生産調整、米価の下落、担い手不足の厳しい現実直面し、稲作農家は大規模であろうが、小規模であっても大変厳しい経営になっており、そのために農業を生業とすることに不安が付きまとっている。</p> <p>大崎市として、ふるさとの元気を取り戻すため、大崎ならではの農業政策の充実が今、喫緊の課題として求められている。</p> <p>そこで、①がんばる農家支援として水田農業機械の取得経費の助成、②園芸経営を営む方への支援策として園芸栽培用ハウス及び付帯設備の事業費補助、ビニールの張りかえに要する経費の補助、③環境保全型農業の支援は環境保全米の品質を高めるための条件整備として色彩選別機の導入経費の補助、④JGAP、有機JAS、県認証等に要する経費の補助をすべきだと考えるが、所見を伺う</p> <p>3 都市計画税の課税区域の変更に伴う説明会と地域振興策について</p> <p>(1) 都市計画税の課税区域の変更に伴い新たに課税区域となったサントウン地区への住民説明会の開催について</p> <p>(2) 合併以降も鹿島台地域の都市計画税課税区域は「農振農用地を除く都市計画区域内」としていたが、大崎市では平成30年度から用途指定地域内に改めて都市計画税を課税することにした。そこで、鹿島台出町地区は長年にわたり都市計画税を納税しているにもかかわらず、平成23年12月に下水道事業計画を除外決定された経過があることから、下水道事業は行われなくなった。この地区は用途指定地域外になったため地域振興策はできなくなったのではないかと心配しているが、納税者の心情に十分配慮し、地域振興策を講ずるべきではないのか、所見を伺う</p> <p>(3) 都市計画税の不均衡の是正については結論を出す時期ではないのか、市長の所見を伺う</p> <p>4 冠水地区の解消を目指して</p> <p>(1) 近年、豪雨による浸水被害が頻発し、市内各所で浸水や道路冠水があり、その被害を防ぐことが急がれ、浸水被害の軽減を図るため計画的な整備を進めなくてはならない。</p> <p>大崎市では、浸水被害を軽減するため、古川地域、松山地域、三本木地域、鹿島台地域で雨水対策事業に取り組んでいる。その一方、長年にわたって浸水被害が解決していない地区があるため整備が急がれている。その地区は古川地域の福沼地区、稲葉地区など</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
18	28	佐藤 勝	<p>で、雨水対策事業で排水路の整備事業及び排水ポンプを整備し、冠水地区の解消をしなければならないと考えるが、所見を伺う</p> <p>1 新鶴巻工業団地と市の本気度を計る</p> <p>(1) 造成予定年度と完成年度のスケジュールは</p> <p>(2) 本年度の事業内容は</p> <p>(3) 産業団地に変更できないか</p> <p>(4) 地権者の動向は調査するのか</p> <p>(5) セールスポイントと誘致企業の職種は</p> <p>(6) 観光の拠点と農村の活性化策としての4つ目の道の駅としての国交省への申請は</p> <p>(7) 道の駅をフィールドミュージアム構想の核に</p> <p>(8) 関係団体とどう協議が進んでいるのか</p> <p>2 若年層の人材育成について</p> <p>(1) 生涯学習推進計画の見直し素案は</p> <p>(2) 中学生、高校生に海外研修を</p> <p>(3) おおさき・未来塾の開設を</p>
19	24	氏家善男	<p>1 地域格差の是正と大崎市の均衡ある発展について</p> <p>(1) 総合支所機能の充実</p> <p>(2) 人口減少が大きい大崎西部地区への工業団地構想について</p> <p>2 少子化対策について</p> <p>(1) 市内1カ所のみでの情報提供は全域をカバーしていない。総合支所、教育委員会所管事業挙げて取り組むべきではないか</p> <p>3 世界農業遺産認定を受けた今後の政策について</p> <p>(1) 対象地域の意識の高揚、いぐねの保存</p> <p>(2) いぐねの登録</p> <p>(3) 観光戦略をどう描くか</p> <p>(4) PRや来訪者への説明など、施設の整備について</p>
20	6	佐藤仁一郎	<p>1 本庁舎建設の前に各支所の位置づけと有効活用策を図るべきではないか</p> <p>(1) 新庁舎完成後の岩出山、三本木総合支所の活用案はあるのか</p> <p>(2) 地域住民だけでなく、本庁担当部署も積極的に活用策を図るべきであると考えているが、その点について伺う</p> <p>(3) 新庁舎完成前に活用策を示すべきであると考えているが、その点について伺う</p> <p>(4) 地域維持保全の基地でもあると考えているが、その点について伺う</p> <p>2 大規模な山林伐採が進み、太陽光発電等の計画が進行している。周辺地域の排水対策等生活環境の安全は保たれるか</p> <p>(1) 市内における山林の開発状況を伺う</p> <p>(2) 大規模開発に伴う調整池の降雨量の安全基準、確認体制を伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
21	26	木内知子	<p>(3) 下部流域の沢，中小河川の安全保持の確認はどのように行うのか</p> <p>(4) 開発目的がしっかり果たされているか確認を行っているか</p> <p>1 市民が利用しやすい公共交通システム構築について</p> <p>(1) 今後の見通しをいかに考えているか</p> <p>(2) 市内全域を距離に関係なく，一律低料金で運行するデマンド型交通システムを構築すべきではないか</p> <p>(3) 地域の特殊性を考慮した，自治体を越えて乗り入れ可能な交通システムは実現できないのか</p> <p>2 社会教育施設の改修整備について</p> <p>(1) 基幹公民館の老朽化の実態を見据えた改修または建てかえ計画は，どのように考えられているのか</p> <p>(2) 各地域の図書室の実状はどうか。特に，狹隘で暗く，入館者がゆったりと過ごせる環境にない鹿島台公民館図書室の改修または移転を考えるべきではないか</p> <p>(3) 松山公民館へのエレベーター設置の見通しはいかがか</p>
22	27	小沢和悦	<p>1 「健康で文化的な最低限度の生活」基準以下の世帯対策について</p> <p>(1) 大崎市における捕捉率と評価</p> <p>(2) 「生活保護法に基づく適正な保護費の支給に努め」の意味</p> <p>(3) 憲法第 25 条，生活保護法による生活保障の制度の周知及び利用しやすくする方策</p> <p>2 市有財産の適正管理について</p> <p>(1) 契約上の「善管義務」に疑義が生じた場合の管理者の対応について</p> <p>3 東京電力福島第一原発事故により生じた放射性廃棄物の扱いについて</p> <p>(1) 市長は「住民の理解と同意を得る」ことを諦めて試験償却を強行するのか。それで民主政治と言えるか</p> <p>(2) 大崎地域広域行政事務組合の管理者でもある大崎市長として，焼却施設，最終処分場のある関係団体との覚書等は守るべきもの。その変更なしに「現在のままで入れさせてもらいたい」との考えを示したとの報道があるが，本気でそのようなことを考えているのか</p> <p>(3) 隔離安全保管の解決方法について</p>
23	19	只野直悦	<p>1 スポーツの振興について</p> <p>(1) スポーツ庁の部活動指針と本市の対応について</p> <p>ア 現場としてどのように受けとめているのか</p> <p>イ 生徒の健全育成と，教職員の働き方改革の進め方は</p> <p>ウ 外部指導者の現状と連携について</p> <p>(2) 東京パラリンピック出場を目指す選手の支援について</p> <p>2 安全・安心のまちづくりについて</p> <p>(1) 洪水ハザードマップの作成について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
24	8	八木吉夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 想定最大規模に対応する洪水ハザードマップの作成は</li> <li>イ 地域密着型で全戸配布の考えは</li> <li>(2) 山王川第一号隧道（田尻大貫）の改修について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 現状と改修の必要性について</li> <li>イ 改修計画の方策について</li> </ul> </li> <li>3 食品ロスの減少策について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 本市における食品ロスの認識と減少策の必要性について</li> <li>(2) 残さず食べよう「30・10運動」推進の取り組みについて</li> </ul> </li> <li>1 熱回収施設の廃熱を利用した自治体の公営企業について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 廃熱利活用策として売電することのだが、それだけではなく、廃熱温水を利用しての健康増進施設クアハウス事業、温水プール事業等、公営企業としての収益増を計画し、交付税に頼らない自治体を目指すべきと考えるが、所見を伺う</li> </ul> </li> <li>2 熱回収施設の廃熱を利用した産業振興策について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 廃熱温水を利用しての健康増進施設クアハウス事業、温水プールや、世界農業遺産認定地として、農業者の所得増進を図るための温水を活用したハウス栽培等、果樹、園芸の促進を図るべきと考えるが、所見を伺う</li> </ul> </li> <li>3 農林業系廃棄物の処分について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 農林業系廃棄物の処分については、最終的にはおよそ6年もかかるが、保管している人たちのことを考えれば早急に処理しなければならない。ゆえに、保管場所を整備し、人的負担を解消すべきと考えるが、所見を伺う</li> </ul> </li> <li>4 空き家活用策について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 集会施設等のない地区において、地域で管理する集会施設としての利活用もあるべきと考えるが所見を伺う</li> </ul> </li> <li>5 公営施設等、消防本部・消防署の跡地利活用について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 跡地利活用をどのように考えているのか、伺う</li> </ul> </li> </ul>	